

◎ この証明を必要とする技術者は、特定建設業の許可を受ける場合です。  
このことから、一般建設業の技術者資格を前提に、さらに指導監督的な経験（建築工事の設計または施工全般について、工事現場責任者（監督者）のような資格で指導監督した経験）を必要としています。

(用紙A4)

指導監督的實務經驗證明書

下記の者は、**機械機器設置**工事に関し、下記の元請工事について指導監督的な実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

令和3年5月15日

原則として証明期間当時の  
使用者による証明

福岡市東区〇〇2-54-1  
〇〇〇〇 (株)

証 明 者 代表取締役 ○○○○

許可年月日 令和〇〇年〇月〇日

許可番号 000 (特-00) 第0000号

許可業種(電機)

被証明者との関係 使用人

証明者の立場からみた被証明者との関係を記載する。

100

技術者の氏名	〇	〇	〇	〇	生年月日	昭和○年○月○日	使用された期間	H 5年 1月から H29年 5月まで
使用者の商号又は名称	〇	〇	〇	〇	(株)			
発注者名	請負代金の額	職名	実務経験の名目	内容	実績年数			
○○○○(株)	55,000千円	現場監督	○○○○(株)本社ビルエレベーター設置工事	"	H24年 1月から 24年 3月まで			
福岡県知事	60,000千円	"	○○団地エレベーター設置工事	"	H24年 4月から 24年 8月まで			
福岡県住宅供給公社	46,000千円	"	○○団地○棟	"	H24年 9月から 24年12月まで			
福岡市長	50,000千円	"	○○団地	"	H26年 1月から 26年 7月まで			
都市再生機構九州支社	135,000千円	"	○○団地○棟	"	H27年 1月から 27年10月まで			
株○○○○	70,000千円	"	○○○○(株)九州支社ビル	"	H28年12月から 29年 2月まで			
	千円				年 月 から 年 月 まで			
	千円				年 月 から 年 月 まで			
	千円				年 月 から 年 月 まで			
	千円				年 月 から 年 月 まで			
	千円				年 月 から 年 月 まで			
	千円				年 月 から 年 月 まで			
使用者の証明を得ることができない場合はその理由を説明する。								
合計								

## 記載要領

1 この証明書は、許可を受けようとする建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者1人について、証明者別に作成し、請負代金の額が4,500万円以上の建設工事（平成6年12月28日前の建設工事にあつては3,000万円以上のもの、昭和59年10月1日前の建設工事にあつては1,500万円以上のもの）1件ごとに記載すること。

経験年数を合計して満2年以上になることが必要です。

2 「職名」の欄は、被証明者が従事した工事現場において就いていた地位を記載すること。

3 「実務経験の内容」の欄は、従事した元請工事名等を具体的に記載すること。

4 「合計 満 年 月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。